

技術相談で企業応援

豊岡に「ものづくり支援センター」 加工機械など時間貸しも



但馬技術大学校内にオープンした「兵庫ものづくり支援センター但馬」＝豊岡市九日市上町

ん(64)、木・金曜は精密ポンプ製造「タクミナ」(大阪市)生産本部顧問の高馬勇さん(67)が務める。新藤さんは金属加工の技術、高馬さんは品質管理などの相談に応じる。

センターには、素早く緻密に金属を削り出せる「5軸制御マシニングセンター」や、複雑な形の樹脂部品などを作れる3Dプリンター、金属に含まれる元素分析もできる電子顕微鏡など7機器を設置。6月下旬には企業への時間貸しも始める予定で、講習を受ければ、特殊加工や付加価値の高い「一品もの」作りなどにも挑戦できるようになる。

この日の開所式には、県などから約20人が出席。同校の奥田孝一校長は「但馬の多くの企業に利用してもらい、良き相談相手となれば。求職者の訓練校に開設することで、求職者と企業の結びつきも生まれる」と期待する。相談希望は同センター ☎0796・23・2000 (阿部江利)

但馬地域の中小製造業を支援する「兵庫ものづくり支援センター但馬」が3日、

豊岡市九日市上町の但馬技術大学校内にオープンした。県内では神戸、尼崎、姫路に次いで4カ所目。民間出身の技術コーディネーター2人が、加工技術や品質管理などの相談を受けるほか、3D(3次元)プリンターや緻密な金属加工が

できる機械も置き、地元企業を後押しする。

中小企業を支援する県工業技術センターなどの活動を、県北部でも展開する拠点として、県が開設した。

月曜を除く平日午前9時から午後5時に開く。技術コーディネーターは、火・水曜が航空エンジンの部品開発に携わる「ナサダ」(姫路市)の元社長新藤茂實さ